

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

| | |
|--------------------------------|--|
| 部門名 校内研修プログラム開発・実践部門 | エントリー名 東京都江戸川区立小松川第二小学校 笠本 希 平成 30 年度学校組織マネジメント指導者育成研修 C 日程 |
|--------------------------------|--|

活動名 共有ビジョンの構築～校内研究の場のデザイン～

解決すべき課題
 平成 30 年度学校組織マネジメント指導者育成研修に参加した。研修の事前課題であった SWOT 分析による現状把握を教職員参加型のワークショップとして実施した。そこから、「管理職を中心に、人と人が個々の意識でつながっている学校であるが、共有ビジョンを構築する場の不足や評価の方法等により、目的を自分事として捉えにくい。」という課題があると考えた。

目標・方針
 上の課題を解決していくために、共有ビジョンの構築をしていく場として、校内研究がレバレッジポイントとなると考えた。そして、校内研究を中心として児童の実態を話し合い、目指す児童像を語り合う中で教員が互いの価値が共有されるような場となることを目標とした。
 本校では、年度初めの校内研究 1 回目として、講演会を予定していた。そこで、上の目標へのアクションとして、講師の講演と教員のワークショップが一体的に進んでいく 110 分の校内研究会をデザインし、実施した。

活動内容 右頁参照
 校内研究 110 分間の活動の流れ
 ① アイスブレイク 5分 用意：気持ちカード
 ② 児童の実態について(講師による講演/教員のワークショップ) 20分 用意：A5 サイズの紙、ペン
 ③ 目指す児童像について(講師による講演/教員のワークショップ) 25分 用意：価値共有シート
 ④ 目指す児童の具体的な姿(講師による講演/教員のワークショップ) 40分 用意：ペン、付箋
 ⑤ 情報共有(各グループの発表) 5分
 ⑥ まとめ(講師による指導講評) 10分
 ⑦ 振り返り(個々で本研究会に関する振り返りをカードに記入) 5分 用意：振り返りカード

活動の成果
 振り返りによる教員個々のカードから
 ・児童の実態やこうなってほしいという願いを全体で共有できて良かった。
 ・自分たち(教師)も考え、議論しながらできたのがよかった。
 ・目指す児童像が少し見えてきた 6 年間の系統性があるものにしたい。
 ・頭を使い続ける進行で、意欲が沸いた。
 ・普段の子どもとのかかわり方など、自分の普段の意識から変えたいと思った。
 といった満足感や意識変容が成果として考えられる。

アピールポイント (アイデアや工夫)
 ・講師の講演と教員のワークショップを一体的に実施するモデルプランとして活用できる。
 ・教員の価値を共有し、対話を促す研修構成となっている。
 ・展開ごとのワークショップの手法は転用して活用できる。

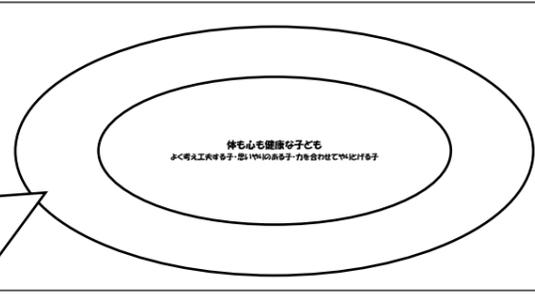
**共有ビジョンの構築
～校内研究の場のデザイン～**

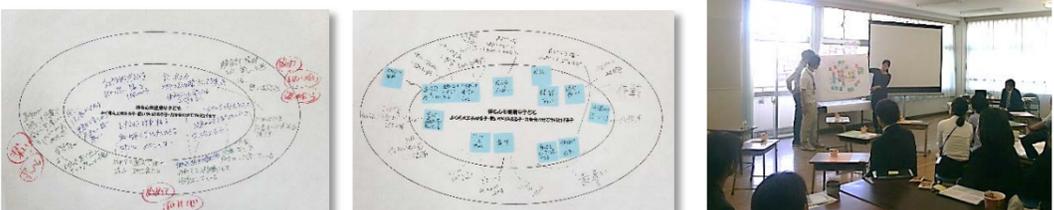
① アイスブレイク

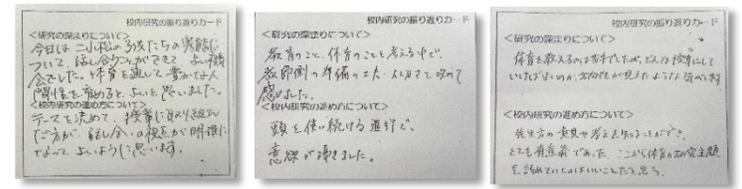
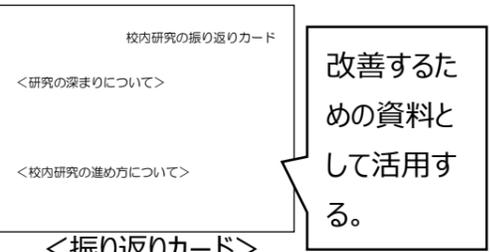
 <気持ちカード>
 活動①、②で使用。教員は丸椅子。

② 児童の実態について(講師による講演/教員のワークショップ)

 <講師による講演> <教員のワークショップ>
 児童の実態を個人でカードに書き、集めて全体で共有する。
 全体で見やすいように A5 サイズの紙を用意

③ 目指す児童像について(講師による講演/教員のワークショップ)
 ④ 目指す児童の具体的な姿(講師による講演/教員のワークショップ)

 <価値共有シート>
 模造紙サイズの価値共有シートを用意。
 中心の円の中には目指す児童像について。
 二重円には目指す児童の具体的な姿について付箋等を活用して記入していく。

⑤ 情報共有(各グループの発表)

 <記入した価値共有シート> <各グループの発表>

⑥ まとめ(講師による指導講評)
 ⑦ 振り返り(個々で本研究会に関する振り返りをカードに記入)

 <教員が記入した振り返りカード>

 <振り返りカード>
 改善するための資料として活用する。

<会場レイアウト>
 児童机、スクリーン、講師机、長机